

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	18 日	記入者	中西 環
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	小谷古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1977年(昭和52)5月20日				
所在地	橿原市鳥屋町716番地				
所有者 管理者	橿原市 鳥屋町共有				
員数	1基				
時代区分	7世紀				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	有り(施錠されている柵内にある)				
公開	柵で囲まれているので外観のみ(市の文化財課に連絡して開錠依頼すれば内部見学がで				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(基本的に立ち入り禁止なので人為的に荒らされている感じはない)				
当面の課題	傾斜地に築かれた古墳なので昨今の暴雨風や土砂流出などで地盤の崩れなどが心配。				
今後の課題	開発調査でないと発掘できない現状があるので、整備も含め、未調査の古墳はこの小谷古墳の他、南にある小谷南古墳もあり、こちらは未開口。学術調査として薦めることができれば小谷古墳と共に発掘整備していきたいと思っている(市文化財担当斎藤さん談)。				
その他 (由緒など)	貝吹山から北東に伸びる尾根の先端に築かれた前方後円墳を含む8基の古墳群のなかの東端部に位置し、南斜面に築かれている。形状は変形しているので不明。両袖式の横穴式石室。玄室の天井石は1枚岩で石舞台古墳の天井石よりも巨大。石棺は蒲鉾形に近いゆるやかな傾斜をもつ。盗掘によって石棺は西壁に沿って傾き蓋が開いた状態。被葬者は天皇家を含めた有力氏族に墳墓とみられ、江戸時代には斉明天皇陵に比定されていたこともある。				
コメント	白樫ニュータウンを見下ろす位置にあり、内部は美しく加工して積まれた側石に感動した。明日香村の岩屋山古墳と特徴が似ているが、こちらはまだ発掘当初を思わせる雰囲気が残る未整備に近い状態。花崗岩の切り石は苔むして緑色だった。市文化財課によると石の継ぎ目に使用されている漆喰は当時のものだそうで、そこを竈虫(かまどむし)とコウモリが主のように守っているのが印象的だった。玄室石棺の奥にはまだ空間があり、未調査のため副葬品が不明なものになる古墳。学術調査に焦点があたれば発掘、整備、保存ともに光が浴びるようにも思う。関心を持ち、継承されていくことを願う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	9 月	18 日	記入者	中西 環
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	小谷古墳
------	------

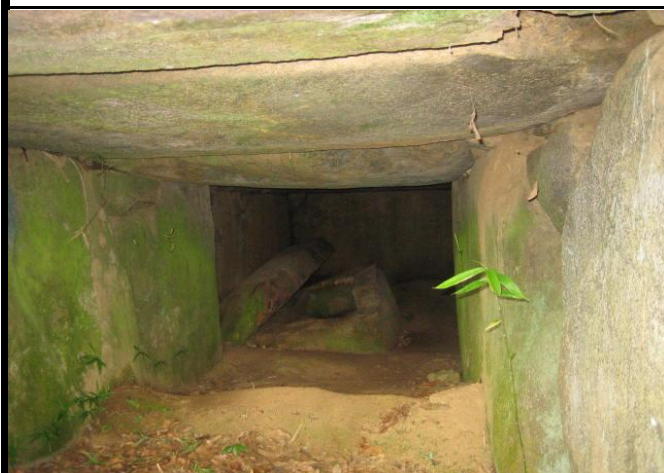
住宅街古墳付近にある誘導板



柵内にある橿原市教育委員会の説明板



羨道部より(西壁に沿う石棺)



玄室の測石



玄室



石の継ぎ目には発掘当初と思われる漆喰

